

## 美国总统就任演说4 PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

[https://www.100test.com/kao\\_ti2020/245/2021\\_2022\\_\\_E7\\_BE\\_8E\\_E5\\_9B\\_BD\\_E6\\_80\\_BB\\_E7\\_c105\\_245739.htm](https://www.100test.com/kao_ti2020/245/2021_2022__E7_BE_8E_E5_9B_BD_E6_80_BB_E7_c105_245739.htm) 4. リチャ

ド&#12539.ニクソン第二期大就任演(1973年1月20日)副大、下院、合衆最高裁判所官、クック上院、アイゼンハワ氏、そしてともに大ですばらしいわが祖国を作り上げているアメリカ国民のみなさん。われわれはこの所に4年前に集ったとき、アメリカは先行きが暗く、りがないように思われる海外の争の通しや本国での破的な突によって意消沈していた。この所に本日集うとき、われわれは世界における新たな平和の代の入り口にたっています。われわれの提示されているは、「この平和をどのようにしたらよいだろうか？」ということです。われわれが足を踏み入れようとしている代が、他の争後の期にしばしばそうなったようにはしないようにしよう。つまり、国内には不をもたらし、海外では新たな危をまねく、ひきこもりと孤立の状にならないようにしようではないか。われわれは次のようにしようではないか。つまり重い任をしっかりと引き受け、そこで一つの国として三世目に入ったアメリカの精神と束を新たなものとしましょう。ここ数年は、われわれの新たな平和の方がに成果をあげるのをすることができた。われわれの的な交友に新たな活力を与えつづけ、北京やモスクワに使を送ることで、世界中の国々と新たなそしてよりきするの基をすることができらるだろう。アメリカの大胆な先で、1972年は第二次世界大以来、世界での恒久的な平和へ向けての最も

大きなをなしとげた年としてくされることだろう。われわれが世界中でもとめる平和は、に争と争のあいだといったうすっぺらな平和ではなく、来るべき世代においても持ちこたえるような平和なのです。アメリカにおいてわれわれが平和を保つようにしなければ、平和になることはありえないでしょう。アメリカにおいてわれわれが自由を保つようにしなければ、自由になることはありえないでしょう。われわれは、ここ4年においてわれわれが用してきた新たな方の果としての、新たなアメリカの役割の本をはっきり理解するようにしましょう。われわれは、条による束を尊重しよう。われわれは的に、いかなる国も武力をもってその意志やを他国へおしつける利をもたないという原を支持しよう。われわれは、交の代においても、核兵器を制限することや、その大きな力が直面する危をらすようにしよう。われわれは、世界において平和や自由を守るために献しよう。アメリカが他の全ての国の争を自分のものとみなすような代や、他の全ての国の将来がわれわれの任であるとするような代や、もしくは他の国の国民にどうやってそれぞれのを解するかを教えようとするような代はぎ去った。各々の国がそれぞれの将来をめる利を尊重しさえすれば、各々の国がそれぞれの将来を手中におさめる任をもつことをできるだろう。アメリカの役割が世界の平和を保つには不可欠であり、各々の国の役割がそれぞれの国の平和を保つためには不可欠なのです。世界の残りの国々とともに、われわれが始めたスタトから前しようではないか。これほどいあいだ世界を分断してきた意の壁をうちこわし、そ

の所に理解のをかけつづけようではないか。そうすれば、政府の形の大きないはあれども、世界の人々はみな友になることができるだろう。世界に弱者が者と同じように安全である平和な仕みをつくりあげよう。そのような世界では、お互いかなるシステムで生きる他人の利を尊重し、他人に影を与える人は、武器による力ではなく、アイデアの力でそうすることだろう。そのような大きな任を重荷としてではなく、よろこんで引き受けよう。なぜよろこぶかといえは、そのような平和をき上げるチャンスは、国としてわる最も高な努力であるから。なぜよろこぶかといえは、もしわれわれが海外での任にするなかで大にふるまいさえすれば、われわれは大な国でありつづけるし、もしわれわれが大な国でありつづけるなら、本国でのチャレンジにするなかでも大にふるまうことができるだろうから。史上のいつと比べても、アメリカにおいてよい生活を送るために、われわれは今日より多くのことができるチャンスがあります。よりよい教育、より健康であること、よりよい家、よりよい交通手段、よりきれいな境、遵法精神をとりもどし、われわれのコミュニティをより生き活きとしたものとし、そして全てのアメリカ人に神によって与えられた、完全かつ平等な会の利を保障するように。われわれが必要とするものはあまりにく、われわれの会の及ぶはあまりに大きいので、これらの必要に新しい方法でする意を大胆にしよう。ちょうど海外において平和をき上げるには、失した古い政策をすることが必要であるように、本国における新しいの代をくには、失してきた古い政策をすることが必要

なのです。海外においては、古い政策から新しい政策へのシフトはわれわれの任の放ではない。しかしよりよい道は平和なのです。そして本国では、古い政策から新しい政策へのシフトもまたわれわれの任の放ではない。しかしよりよい道はなのです。海外においても本国においても、これらの新しい任のは、任の所在と分割にある。われわれはあまりにい、全ての力と任をワシントンに集中するみの果のもとで生きてきた。海外においても本国においても、温情主を下すような、「ワシントンが一番よくしている」式の政策からするときがきたのです。人は任をもっているときのみ、任をもって行することが望めるのです。それが人の本です。本国でも海外の国々でも、より自分のために行するように、より自分のために断するように々の人を励ましましょう。より多くの所で任を分担しよう。他人のために何をしようとしているかを、自分のために何をしようとしたかで判断しよう。それが今日、私がどんなにしてもに政府だけで解できるものはないと言っている理由だ。われわれは、あまりにいあいだった束をしてきたのだ。あまりに政府を信しすぎていて、われわれは提供できる以上のものを求めていたのだ。これは思い上がった慢心につながるだけであり、人の努力を少なくし、政府ができることと人々ができることの信をなう失望と不につながったのである。政府は、人々がより自身のためにくように、人々から取る分を少なくしなければならないということを学ばなければならない。アメリカは政府によってではなく、人々によって成り立っていることを思い出して欲しい。富でなく、

で、任を回避することではなく任を引き受けることで成り立っていることを。われわれが直面しているチャレンジにおいて、われわれ一人一人はどうやって政府が助けてくれるかではなく、自分が何をできるかをまさにおうではないか？ 100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 [www.100test.com](http://www.100test.com)